



泉南市
SENNAN CITY

令和5年度 市政運営方針

～ 時代に合わせた改革で、次代に引き継ぐ、強くしなやかな泉南市 ～

令和5年3月

泉南市長 山本 優真

はじめに

令和5年第1回泉南市議会定例会の開会にあたり、私の所信の一端を申し述べるとともに、令和5年度の市政運営方針を御説明申し上げ、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、昨年5月に市長に就任した私にとって、令和5年度の市政運営は、本格的な予算編成を伴う初めてのものであります。

これまでの、市長就任以降の一年近くの間でも、マニフェストの実現や山積していた行政課題の解決に向けて、私なりに市役所の組織・人材・財政を見極めつつ、優先順位をつけて対応してきたところでありますが、本年度からは、これまでに検討を重ねてきた課題に一定の方向性を定めて、課題解決スピードを加速させ、質・量ともに本市の政策をより一層充実させていきます。

そのために、3つのこだわりを持って市政を運営します。

まず第一に、持続可能な安定した成長のための行政経営基盤の強化にこだわりたいと思っています。

すでに着手していますが、DXの推進など働き方改革や業務量調査を着実に実施するとともに、さらなる公民連携や企業投資の獲得を目指します。

また、経営感覚を持った行政運営を行うために組織体制を改編・強化したところであり、稼ぐ視点を磨き上げ、投資と回収の確立を実現するとともに、公共施設や公共インフラの再編整理を目指します。

第二に、機敏な先読みと未来への投資にこだわりたいと思っています。

今と近い将来のニーズやトレンドを把握・予測するとともに、現状の政策バランスを分析することや身近な市民の皆様の声を聞くことで、即応性の高い政策が実現できると考えています。本市が令和4年度に実施した、近い将来社会の即戦力でありながら国の政策対象の隙間世代であった若者世代を対象とした次世代支援エール事業はまさに、その視点から実施したものであります。

また、これまでにも特に注力してきている子ども支援政策、子育て政策が最も有効な未来への投資であると考えています。本市にとっても、社会全体にとっても未来を担う子どもたちは、かけがえのない大切な宝物であります。引き続き、子育て政策などを拡充していきます。

第三に、信頼と共感の市政運営にこだわりたいと考えています。

少し大雑把な表現になりますが、次代に引き継ぐ、強くしなやかな泉南市を創造するために行う、政策の実行や目標の達成にとって、最も大事なものが人であると考えています。

本市に関係するすべての皆様に対して、誠実で正直な説明責任を果たすとともに、信頼と共感を得られるよう、様々な政策を企画・立案・実行・検証しながら、前へ進んでいきます。

以上の3つのこだわり以外でも、国際化政策や学力向上など実現していきたい取組はたくさんあります。

特に、国際化政策については大阪・関西万博の機運醸成のタイミングでもあり、本市の子どもたちにグローバルな視点で物事を捉え、国際コミュニケーション能力を身につける機会を提供していきたいと考えています。

それでは、これまでにお示ししてきた私の政策目標や市長就任以降に検討している行政課題に絡めながら、新しい総合計画の体系に沿って主要な施策を御説明いたします。

分野別政策1 『ひと』を育てる・輝かせる

分野別政策1 『ひと』を育てる・輝かせるための施策・事業として次のとおり進めてまいります。

<人権尊重の推進について>

人権尊重の推進につきましては、令和4年度に実施した市民人権意識調査の結果を踏まえ、泉南市同和行政基本方針の改定を行います。さらに、中学校区ごとに人権啓発事業を実施し、小学校区を越えた地域のつながりをつくり、差別や偏見のないまちづくりを推進します。

また、人権保育・教育基本方針に沿った人権保育・教育を推進するために、人権保育・教育推進プランの改定を行い、様々な人権課題について系統的に取り組を進めます。

<国際交流について>

国際交流につきましては、フィリピン共和国ダバオ市との今後の姉妹都市連携協定の締結に伴い、教育分野や観光分野における連携を進めます。

<子育てしやすい環境の整備について>

令和4年度から実施している母子健康手帳アプリや妊産婦・多胎児家庭へのタクシーの利用支援を引き続き実施します。また、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する出産・子育て応援交付金事業を引き続き実施します。

さらに、出産時のお祝いとして、生まれた時から長く使って頂けるような出産記念品をお渡しすると共に、出産後間もない時期の子育て家庭に対する家事・育児などの支援を実施する育児ヘルプ家庭訪問事業の導入及び公共施設を活用した子どもが遊べる拠点の充実を図ります。

保育施設につきましては、安全・安心な保育を提供できるよう、保育の質の向上と保育環境の充実のための支援を行います。また、少子化対策及び子育て世帯の負担軽減を目的に、現制度において保育料が半額となっている第2子の保育料の無償化を、令和5年4月から実施します。

子ども医療費の助成につきましては、令和5年4月1日より、現行の誕生日から15歳に達した日以後の最初の3月31日までを誕生日から18歳に達した日以後の最初の3月31日までに拡充します。

児童虐待の防止につきましては、迅速かつ適切な支援を図るため、専門職の人材確保による体制強化を行い、家庭児童相談室の機能を拡充します。

子育て支援センターにおいては、土曜日・日曜日のひだまりルームの拡充を行い、父親が育児に参加しやすい環境づくりを進めます。

また、子ども総合支援センターにおいては、身体や発達に課題がある子どもの生活や成長における課題について、子どもに関わる関係機関と連携し、専門的な立場から子どもが持てる力を十分に発揮できるように支援します。

<子ども政策について>

現在行われている第三者委員会における審議の過程や今後の答申を踏まえ、学校や家庭で悩みを抱える子どもの相談・支援の充実を図るため、関係部局と連携した取組を進めます。

子どもの声を聴く体制の強化として、家庭・学校・友達にも言えない悩みなどを受け付ける子ども専用のフリーダイヤルを設置し、子ども相談窓口の充実を図ります。

特に子どもの心身にとって重大な支障をきたすような相談内容への迅速な対応や救済のできる体制の整備、子ども基本法施行や子ども家庭庁創設に伴う施策を推進するため、組織の体制強化を図ります。

<学校教育について>

学力向上につきましては、教育委員会事務局に「学力向上対策室」を設置し、学力向上プランの策定に取り組みつつ、「全国学力・学習状況調査」などの結果から学校ごとの児童・生徒の学力や学習状況などを把握・分析し、その改善を図るとともに、学力向上施策を推進します。その一環としてタブレット端末を活用し、AIドリルを導入するなど、子ども一人一人の学びの充実、とりわけ家庭学習に取り組む時間の増大を図るよう支援します。

子どもたちが学校園生活で直面するいじめや暴力行為などの問題行動や不登校に対しては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門人材の活用や関係機関との連携により早期発見・早期対応の解決に努めます。

教職員研修につきましては、学校教育アドバイザーを活用した校内研修や教科研究のさらなる充実を図ります。教職員の働き方改革につきましては、市独自のスクールサポートスタッフや校務用パソコンを活用することにより、長時間勤務の是正や負担軽減に向けた取組を支援します。

外国語教育につきましては、JETプログラムの外国語指導助手（ALT）を効果的に活用した授業や取組をさらに進め、市内の様々な団体や学校園において国際交流活動を行います。年々増加傾向にある外国にルーツのある児童生徒に対しては、母語を話せ

る語学補助員の配置や相談事業の実施などを通して、細やかな支援に努めます。

学校施設につきましては、泉南市立小中学校再編計画に基づき、新たに建築する学校について、ワークショップを実施するなど地域住民と意見交換を行い、他の公共施設との複合化を検討します。また、良好な教育環境を確保するため、学校園施設の照明のLED化を実施するなど施設の保全と修繕を進めます。

さらに給食センターの老朽化に伴い、令和7年2学期を目途とした民間調理場活用による学校給食提供についての準備を進めます。

<居場所づくりについて>

青少年センターにおいては、子どもの声を形にしていくため、「こどもスタッフ」を組織するとともに、困っている時・悩んでいる時に気軽に相談できる場所として基本方針に位置づけ、子ども・青少年の日常的な居場所として確立していきます。

公民館においては、地域の拠点として、幅広い世代の市民の自主的な学習活動の場を提供し、人づくり、地域づくりを発展させます。

図書館においては、令和4年度に策定された第3次泉南市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児への読書活動事業からの子育て支援や、市民サポーターの協力を得た青少年の居場所づくりや相談事業など、子どもの発達段階や生活の場に応じた読書活動の充実を目指します。

<スポーツ振興について>

スポーツの振興につきましては、スポーツ推進委員や体育協会などの関係者と連携して、スポーツ活動の活性化を図るとともに、スポーツによる市民の健康増進へつなげていきます。また、泉南スポーツコミッション協会とともに、スポーツツーリズム

による地域振興と魅力発信を積極的に進めます。その核となる事業として、タリイサザンビーチにおいて「泉南オープンウォータースイミング」を日本水泳連盟の公認レースとして毎年開催し、ワールドマスターズゲームズ 2027 関西に向けての機運醸成と、マリンスポーツの拠点としてタリイサザンビーチを磨き上げ、都市魅力の向上に取り組みます。

<青少年の健全育成について>

国際的規模及び全国的規模の競技会、コンクールなどに出場又は出展する泉南の子どもに「(仮) 泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金」を交付することにより、スポーツ活動の推進、競技力の向上及び文化芸術の振興を図るとともに、全市民が一体となって泉南っ子を応援することで、市全体のスポーツと文化芸術に関する機運を醸成していきます。

分野別政策2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する

分野別政策2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出するための施策・事業として次のとおり進めてまいります。

<農業・漁業の振興について>

農業・漁業の振興につきましては、担い手の確保と生産性向上や付加価値の創造を図るため、地産地消や新たな地域ブランド品の開発を推進するとともに、農業、漁業と観光をつなげた農業漁業体験やマルシェ開催などの交流による活性化など、新たな取組を検討します。農業公園につきましては、子育て世代をはじめ様々な意見を聞きながら、活性化について検討します。

<商工業の振興について>

商工業の振興につきましては、商工会と連携し、創業機会の創出・支援を行うとともに、空き店舗対策として家賃補助事業などの事業者支援を行い、商業の活性化に向けた新たな手法を検討します。企業誘致につきましては、4月の機構改革において新たな担当を設け、市内へ進出を希望する企業の情報を一元化し、企業の誘致をさらに進めることにより、新たな雇用の創出と地域活性化に取り組みます。

<買物困難者対策について>

買物困難者に対する支援として、空き店舗の活用など地域商業の活性化を推進することで、にぎわいの創出を図るとともに買物困難者の生活利便性の向上に努めます。

<観光の振興について>

観光の振興につきましては、泉南市観光協会と連携し、市域の豊かな観光資源の魅力を多方面に発信するとともに、さらなる誘客に向けて広域連携による事業を推進します。総合交流拠点施設につきましては、さらなる利用者の増加と本市の魅力を発信できるよう、運営手法の検討を進めます。

また、オープン以来好評を得ている SENNAN LONG PARK の持つ魅力をさらに磨き上げ、本市の魅力があふれる新たなにぎわいづくりの場として活用を促進します。

分野別政策3 『くらし』を守る・快適にする

分野別政策3 『くらし』を守る・快適にするための施策・事業として次のとおり進めてまいります。

<災害に強い地域づくりについて>

地域防災の中心となる自主防災組織につきましては、未結成地域の総会などに出向いた、せんなん伝市メール講座などにより防災組織の必要性について説明を行うなど、設立に向けた支援に努めます。また、災害時に支援を必要とする高齢者や妊産婦などの要配慮者が避難することができる福祉避難所につきましては、市内の社会福祉施設を中心に福祉避難所として支援、協力いただけるよう取り組みます。

<防災体制の充実について>

防災情報の伝達につきましては、防災無線と連動させたアプリやタブレットにより市の防災情報や行政情報を文字・音声・画像などでお知らせし、災害時だけでなく、日常の様々な市の情報を配信できるシステムの導入に向けて取り組みます。

また、災害発生時に円滑な応急、復旧対策の体制確立に向けた連携協力を行うため、全国的なネットワークを活用し、複数の市町村と災害時相互応援体制構築に向けて取り組むとともに災害発生時に他の公共団体や民間団体から人的・物的支援を受け入れるための手順や体制を定めた受援計画の策定に向けて取り組みます。

消防、救急体制につきましては、泉州南消防組合のスケールメリットを最大限に活かし、地元消防団との緊密な連携を図ることで、より確実かつ迅速な消防力を投入できるよう取り組みます。

<防犯対策について>

防犯対策につきましては、昨今の著しく増加している特殊詐欺や強盗などの凶悪犯罪、また交通事故などの早期解決に有効に対応できるよう、地域住民の体感治安の向上に効果的な防犯カメラを計画的に増設するなど犯罪抑止に向けて効果的な取組を行うとともに、泉南警察署や防犯委員会など関係機関との連携による地域住民などへの啓発活動、青色防犯パトロールによる巡回や地域防犯活動を行う団体など、地域との協働による防犯活動の推進に努めます。

<環境保全の促進・脱炭素社会の実現について>

従来の3Rを推進しつつ、脱炭素社会に向け、より環境への負荷が少ない2R（リデュース、リユース）の優先を明確にした施策の拡充を図ります。また、食品ロスの削減並びに海洋プラスチックなどの発生抑制に努め、プラスチック使用製品廃棄物の分別についても関係団体と調整の上検討します。

ごみ焼却施設につきましては、老朽化を解消するべく新炉建替えに向けた準備を進めます。

また、「泉南市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、全庁的に省エネ・省資源行動の取組を継続しつつ、温室効果ガスの排出要因である、電気及び燃料の使用量削減に重点的に取り組めます。

<道路環境の整備について>

幹線道路の整備として、砂川樫井線の新家工区は早期供用開始に向けて、工事の進捗を図ります。既存の道路につきましては、地域道路網の安全性・信頼性を確保するため、個別施設計画に基づき優先順位を定めるとともに令和5年度は令和3年度に比

べ予算を倍増し、状態の悪い舗装の改修や損傷が著しい橋梁の補修に取り組みます。

<広域ネットワークの構築について>

関西国際空港を核とした広域ネットワークにつきましては、空港へのアクセスの利便性や安全性の向上に向け、関係機関へ引き続き要望活動を行います。

また、海上空港という特性に起因するあらゆる危機、国際テロなどによる緊急対処事案を確実に回避し、地震や強風による被害を低減し、災害発生時には速やかに空港稼働を再開させるリスクマネジメントの観点からアクセス方法に冗長性を持たせるため、関西国際空港連絡南ルートの実現に向け、関西国際空港連絡南ルート等早期実現期成会を通じ、関係機関へ引き続き強く要望します。

<下水道の整備について>

下水道事業につきましては、ストックマネジメント計画に基づき、施設の維持管理と改築を効率的に実施します。また、将来にわたって安定した下水道運営を目指すため、経営戦略のもと、公共下水道の整備を推進します。

<公園について>

公園につきましては、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な更新、修繕を行います。

さらに、公園を価値ある公的ストックとして活用するために、再整備・再編を見据えたパークマネジメントプランの策定に取り組みます。

<住まいの提供について>

市営住宅につきましては、住民が安心し、快適に居住できるよう、市営住宅長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理を計画的に実施し、市営住宅ストックの有効活用に努めます。また、未耐震住棟の早期解消を図るため、建替事業を推進します。

空き家対策につきましては、新たな空き家等対策計画に基づき、通学路沿いの空き家対策を強化し、周辺的生活環境に悪影響を及ぼしている危険な空き家を解体する所有者に対して、当該空き家を除却するための費用の一部を補助します。

また、危険な空き家を解体した所有者の空き家除却後の固定資産税などについて除却後に高くなる税額分を減免する制度を始めます。

分野別政策4 『健幸』を築く・つながりをひろげる

分野別政策4『健幸』を築く・つながりをひろげるための施策・事業として次のとおり進めてまいります。

<安心できる医療環境づくり・健康づくりの推進について>

新型コロナウイルス感染症対策では、感染拡大防止策や新しい生活様式への対応を促進し、市民生活との共存を目指します。また、各種検診や生活習慣病発症予防、がん対策など、ライフステージに応じた健康増進に取り組み、市民の主体的な健康づくりを支援します。

後期高齢者医療保険につきましては、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施するため、医師会及び関係部局と連携の上、栄養・運動・口腔・難聴など高齢者の特性に応じた健康意識の醸成及び医療未受診者などについて適正な医療につなげることを推進することで、将来的な介護予防及び医療費の適正化につなげ、被保険者の健康づくりを支援します。

<地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉の充実について>

地域福祉の推進につきましては、人口構造の大きな変化が顕著となる2040年を見据え、高齢・障害・子育て・若者支援など、属性や世代を超え複合する課題にも柔軟に支援する体制整備を行います。また、地域福祉への理解を深めるため、福まちサポーターリーダーを養成し広く地域に充足させることで、関係機関や事業者また地域も含めて連携を強化し、時代に合った「ほどよい関係の中でのゆるやかで持続可能な地域づくり」を整備することで、誰も置き去りにしない泉南市の構築を目指します。

高齢者福祉の充実につきましては、高齢化の進行を背景に増加するひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など支援の必要な方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを推進するため、WAO(輪を)!SENNANを基礎とした、ともに支え合う活力ある長寿社会の実現を目指します。

また、認知症のある人ができる限り地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症のある人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組の構築を図ります。

さらに、デジタルガバメントの実現推進及び持続可能な介護サービスの充実・強化を図るため、AIを活用した認定調査員支援システムを導入し、要介護認定調査業務の効率化・適正化を進めます。

また、成年後見制度に関する支援体制の強化を図るため、泉南市と田尻町が泉南市社会福祉協議会に共同で委託し、「泉南・田尻成年後見総合センター」を泉南市総合福祉センター内に令和5年4月から開設します。

障害者福祉の充実につきましては、障害のある人やその家族が、地域の中で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、関係機関との連携のもと、障害のある人の総合的な相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターのあり方について検討を行い、地域移行や権利擁護の推進に向けた相談支援体制の充実・強化を図ります。

総合的政策『しくみ』をつくる・運営する

総合的政策『しくみ』をつくる・運営するための施策・事業として次のとおり進めてまいります。

<市民参画・協働の推進について>

市民参画・協働の推進につきましては、政策決定を行う過程で市民の意見を直接聞き市政に活かすため、市民ワークショップを開催するなど市民が参画しやすい協働の仕組みづくりや情報提供を積極的に行います。

<シティプロモーションについて>

持続可能なまちづくりを目指して、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民の愛着や誇りを醸成し、交流・関係人口を獲得するための取組となるシティプロモーション及びブランディングを推進します。①誘客事業の強化、②ふるさと納税の充実、③公民連携の推進、④企業立地の促進、⑤情報発信の増強について重点的かつ重層的に取り組む新部署を創設します。

また、観光客の増加により本市の認知度を向上させ、企業立地・投資を促進し経済活動が活性化することにより、税収が増加し市民への還流を推進するといった、好循環サイクルを目指します。また、民間企業との対話を進め、win-winの関係で連携し、市域の地域活性化や社会課題の解決に向けた取組を進めます。

「広報せんなん」につきましては、自然・文化などの地域資源や特徴的な施策などをより積極的に紹介するだけでなく、地域で頑張り活躍している人にスポットを当てるなど、市民の皆様にまちの魅力の再認識や気づきがある情報提供を行い、シビック

プライドを高めるような取組を進めます。

<万博について>

2025年に開催される大阪・関西万博に向け、市主催イベントなどに同万博を関連づけるほか、関係機関と協力・連携して機運醸成を図るとともに、同万博のレガシーを見据え、地域の活性化に向けた取組を推進します。

<情報政策（DX）について>

「泉南市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画」に即した取組を進め、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」などを活用し、誰もがデジタルの利便性が享受できる「市民にやさしいデジタル化」に向けた取組を推進します。また、デジタルに詳しい外部人材を活用し、職員のDX推進に対する機運醸成を図ります。

<組織の適正化と人材の育成について>

内部統制制度導入から2年が経ち、さらなる制度の定着・職員の意識改革とあわせて、職場における財務に関するリスク管理の徹底による、ミスの発生しにくい組織になるよう努めます。また、包括外部監査では、令和4年度の監査結果報告書を受けて、必要な措置を講じるとともに、引き続き第三者の視点による財務に関する監査を実施することで、行財政に係る体制の整備と予算執行を見直す重要な機会と捉え、今後の行財政運営に活かします。

人材の育成につきましては、職員の「がんばり」「プロセス」を適正に評価するため、人事評価制度の運用精度を高め、職員が持つ能力発揮と成長を促す組織風土の醸成を図るとともに、多様な人材や働き方・潜在能力を発揮できる勤務形態の実施、各種研

修の実施や役職に応じた給与体系の構築など、本市に即した組織力の強化・向上を図ります。

また、1月にイクボス宣言を行ったところですが、今後は職員それぞれのライフステージにおいて、仕事と生活の両立が実現できるよう、働きやすい環境づくりに取り組めます。

職員の業務量が増加している中、限られた人員で安定した行政サービスを継続して提供するために、業務量調査を実施します。業務に対する根本的なプロセスを見直すことで、業務改善及び効果的な ICT 導入を検討し、デジタルガバメントを推進します。

また、今後の公共施設の再生と利活用の観点から、教育委員会事務局の執務室を埋蔵文化財センターへ移転し、あわせて本市の教育行政の拠点化を図ります。

広域連携による事務の共同処理につきましては、泉佐野市以南の3市3町の枠組みを基本に、地域の実情や事務処理の効率化を考慮し、積極的に取組を進めます。

<健全な財政運営について>

中長期的な視点に立った財政シミュレーションに基づき、財政運営の計画性と透明性を確保し、将来負担をしっかりと踏まえた予算編成のもと、将来にわたり持続可能な財政運営を確立します。

本市では依然として厳しい財政状況が続く中、安定的な財政基盤の確立が求められます。そのために、引き続き課税客体の確実な把握と適正な賦課を行い、貴重な自主財源である市税の収入確保に努めます。

加えて、ふるさと納税の強化を行うことにより、市内産業の活性化とさらなる泉南市の魅力発信に力を入れていきます。

公共施設の再編整備につきましては、令和5年度から当該課題に重点を置いた組織

を立ち上げ、個別施設計画などを踏まえ、事業計画年度、立地エリア、施設が担う機能を基に施設の複合化・集約化を含め最適化の検討を進めます。インフラ整備や施設の老朽化対策につきましては、持続可能な運営を行えるよう財政運営の中でのバランス、将来負担などを踏まえて取り組みます。

また、これまで「財政早期健全化宣言」を発令し、財政健全化の取組を進めてきましたが、市民の皆様のご協力により、第6次行財政改革実施計画に掲げた財政面での目標は達成することが見込まれ、結果、「財政早期健全化宣言」を解除します。しかしながら、人口減少や少子高齢化、公共施設の老朽化など、本市を取り巻く課題はいまだ解消されておらず、引き続き持続可能な財政運営に向け、これまでの「削減」の視点に立った改革だけではなく、「稼ぐ」仕組を構築した行政経営への転換、確立に向けて取り組みます。

結び

以上、私の所信と令和5年度の市政運営の基本方針につきまして、御説明いたしました。

冒頭でも申し上げましたように、今の世の中はこの時代の大きな転換期にあると思っています。すべての人が生きていく中で、厳しい環境に遭遇しているからこそ、私としては、より身近な立場で泉南市の将来のために働きたいとの思いが強くなっています。

泉南市が様々なことに挑戦し変化していく姿を、市内外に発信できるよう、力強く新しい一歩を踏み出していきます。

ただし、政策を実行していくことは、当然、私一人ではできません。

引き続き、市民の皆様や市議会の皆様、職員の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

泉南市マスコットキャラクター

せんなんくまじろう
「泉南熊寺郎」 “せんくま”

